



東北復興写真展 報告書

東北復興写真展実行委員会

代表 田中 大一

顧問 岡田 昭人

東北復興写真展にご協力いただいた皆様方

2012年3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から一年が経過しました。私たち東北復興写真展実行委員会はそれに合わせて、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）・パリ本部にて東北復興写真展を開催いたしました。

被災地へ新たな関心が寄せられ、また継続的な支援がもたらされるきっかけを作ることがこの度の企画の目的でした。その目的を果たすべく、写真展当日には東京外国語大学の学生八名が鑑賞者の対応にあたり、今回写真をご提供いただいた被災地の十団体を紹介いたしました。フランスという海外の地で被災地の様子を直接知れる機会が少ないことから、鑑賞者の皆様にはこの十団体の活動写真はもちろんのこと、同じ会場に展示された河北新報社提供の報道写真にも目を通され、熱心に写真展を鑑賞してくださいました。また、鑑賞後には写真展の感想、ならびに十団体に寄せるメッセージを募ったところ、約100名の方々から頂戴することができました。このような事実から、今回の写真展によって鑑賞者の多くに行動するきっかけを作り出し、被災地へ新たな関心を払っていただくように促せたのではないかと考えております。

学生のみで組織された東北復興写真展実行委員会でしたが、岡田昭人顧問のご指導のもと、無事に成功をもって活動を終了することが出来ました。これもひとえに、皆様方の温かいご協力のおかげでございます。

改めまして、この度は当団体が主催しました東北復興写真展にご支援いただき、まことにありがとうございました。今後も被災地での活動を続け、情報発信者であり続けるよう努めたいと考えておりますので、引き続き皆様とのご関係を保てられますと幸いです。

今後ともよろしく願い申し上げます。

平成24年3月21日

東北復興写真展実行委員会

代表 田中大一

(東京外国語大学大学院 総合国際学研究科 国際協力専攻 修士2年生)

顧問 岡田昭人

(東京外国語大学大学院 総合国際学研究院)

1. 東北復興写真展 概要

本写真展は、2012年3月11日にユネスコ・パリ本部にて開催されたチャリティイベントの一企画として催された。このチャリティイベントは、チャリティコンサートと本写真展の二大企画で構成されており、入場料（大人 30 ユーロ、学生 20 ユーロ）はすべて義援金として被災地へ送られることになっている。

東北復興写真展はコンサート会場入り口の正面にて開催したことから、チャリティイベントの入場者 1300 名全員に鑑賞して頂けた。また、チャリティイベントの取材に来ていた日本メディア（NHK、フジテレビ、TBS、テレビ朝日ほか）や外国メディアに写真展会場も取材していただいた。

● 開催日時

2012年3月11日 14時～19時（ユネスコ開場から写真パネル撤去まで）

● 開催場所

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ） パリ本部 第一会議場前

● 写真展運営

運営：3・11メモリアルコンサート at UNESCO 実行委員会

共催：ユネスコ国際職員組合（AIPU）、パリ日本文化会館

協賛：清水オクト株式会社、キャノン・フランス、河北新報社、JAPONAIDE、東北復興写真展実行委員会

後援：東京外国語大学、東京外語会、東京外語会平成の会、外大東北復興支援隊

● 写真提供団体（被災地で活動する 10 団体）

- ・女川福幸丸様（宮城県女川町）
- ・亘理いちごっこ様（宮城県亘理町）
- ・Japan All Students Project(JASP)様（福島県福島市）
- ・美浦旅館様（宮城県石巻市）
- ・Step By Step 様（宮城県石巻市）
- ・チーム暁様（宮城県東松島市）
- ・手づくりで元気をつくる会様（宮城県石巻市）
- ・奥州の絆の会様（岩手県奥州市）
- ・ふくしま元気エネルギー供給プロジェクト実行委員会様（福島県福島市）
- ・SAVE IWATE 様（岩手県盛岡市）

2. 東北復興写真展 当日の様子

● 写真展来場者数

1300 人

(一般来場者／招待来場者／メディア関係者／ユネスコ職員／チャリティイベントスタッフ)

● 写真展の展示方法

「震災被害」と「10 団体の活動写真」の 2 グループを作り、復興が始まっている様子を鑑賞者がつかみやすいように展示をした。写真パネルは金網にかける形で展示をした。

震災被害写真

- ・河北新報社からのパネル貸与 (33 枚、既にパネル化されていたもの)。
- ・津波が迫っている様子や避難場所へ向かう人々の様子など、震災直後を捉えた写真が中心。
- ・サイズは A0 から A3。
- ・それぞれの写真にはフランス語のキャプション (写真の説明書き) が添えられた。

10 団体の活動写真

- ・写真展にご協力いただいた 10 団体の写真を展示。
- ・一団体あたりパネルを一枚作成 (縦 110 センチ、横 100 センチ)。
- ・写真は A4 サイズに拡大して印刷したことから、一団体あたり最大 7 枚の写真をパネルに貼った。
- ・写真に添えられたメッセージは当実行委員会のメンバーによってフランス語に翻訳をした。

● 写真展中の取り組み

鑑賞者から被災地に向けてメッセージを募った。その方法として、ノートとペンを鑑賞者に渡し、自由に記述してもらった。そのノートを正面に向けてもらい、写真撮影をした後ツイッターにて逐一公開した。

*すべてのメッセージは「来場者からのメッセージ」(15 ページ〜) からお読みいただけます。また、当団体公式 Facebook ページでもご覧いただけます。

アドレス : <http://www.facebook.com/tohoku10x26windows>

3. 東北復興写真展の展示風景



ユネスコ本部



写真パネル 設置の様子



写真展会場



写真提供団体のパネル



奥州の絆の会様



亙理いちごっこ様



美浦旅館様



チーム暁様



Japan All Students Project (JASP) 様



手作りで元気を作る会様



女川福幸丸様



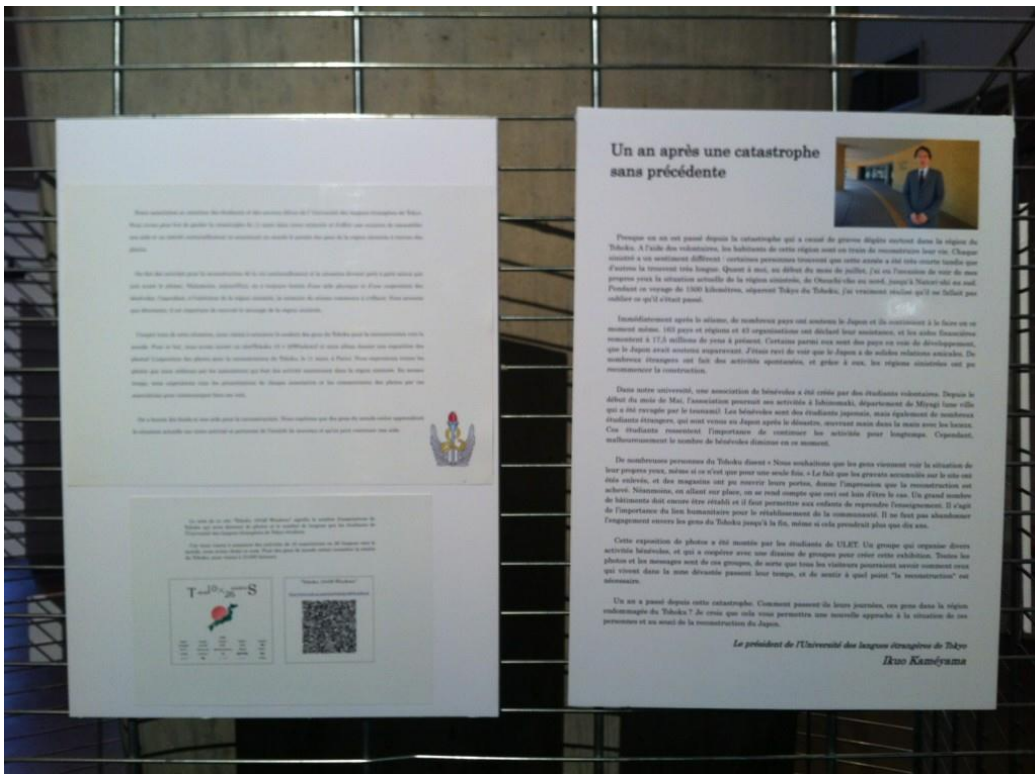
ふくしま元気エネルギー供給プロジェクト実行委員会様



Step By Step 様



SAVE IWATE 様



当団体説明と本学・亀山学長のあいさつ



鑑賞者の様子



鑑賞者の様子



メディア取材の様子

4. チャリティイベント全体の様子

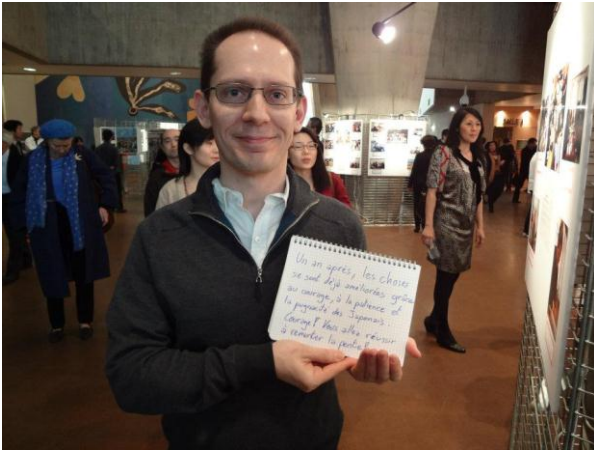
今回の写真展は東日本大震災の一周年チャリティコンサートと同時開催であった。このコンサートは、佐渡裕氏の指揮によるスーパー・キッズ・オーケストラと、阿部加奈子氏の指揮によるジャポネード・オーケストラの演奏会で構成された。チャリティイベントの入場前売り券1300枚は完売し、日本のNHK、フジテレビ、TBS、テレビ朝日による取材も行われた。またUSTREAM（インターネット動画サイト）で生中継されたコンサートはのべ16000人以上が視聴した。入場券総売上28000ユーロ（約308万円）、会場での募金7500ユーロ（約82万円）は日本ユネスコ協会と石巻明友館に送られることになった。

今回のチャリティイベントは、パリ市内の地下鉄駅にも40枚のポスターが掲示され、大々的に広報された。



来場者からのメッセージ

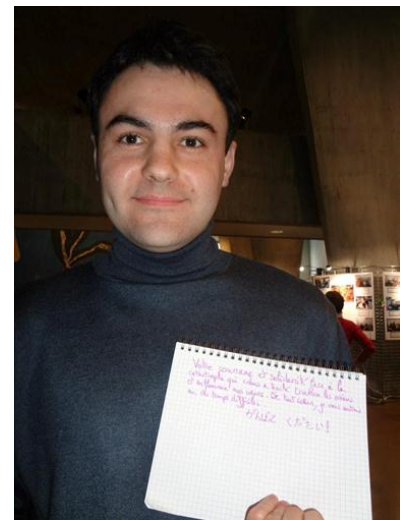




一年がたったいま、
多くのものがすでに復旧しつつある。
これもすべて日本人の**頑張り**と**忍耐**、
そして**勝負強さ**のおかげ。
がんばれ！坂を登りきるまで**あと一息**！

あなたたちは我々フランス人に
勇気、誇り、慎ましさを教えてくださいました。

震災から一年、
我々はあなたたちと共にあります。



津波と地震の被害に大変心を動かされました。
2010年の6月に日本に行ったことがあります、
日本人の親切さ、こどもたちの躰の良さに
驚いたものです。

日本の復興を**心**より願っています。

本当に心から**応援**しています。

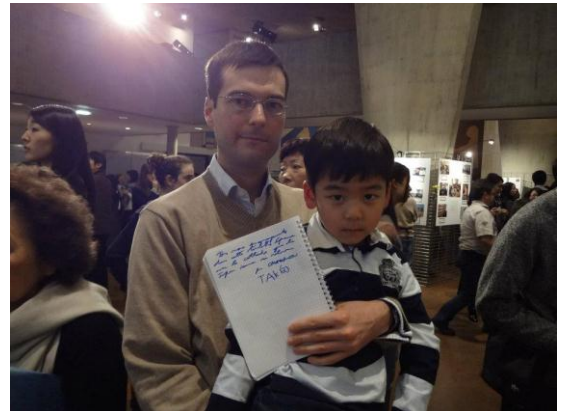
日本の方々に強く思いを馳せるとともに、
これからのがんばりを**日本の友人**として
願っております。





私はいつも日本に行くことが好きで、
日本にはたくさんの**友達**がいます。

この度は一音楽家としてこのコンサートに携わり、
津波による犠牲者の方々への敬意を表すことが
出来ましたことを光榮に思っております。



この大きな苦難に、

心からの**エール**を送ります。

日本は必ず復興するという確信と共に。



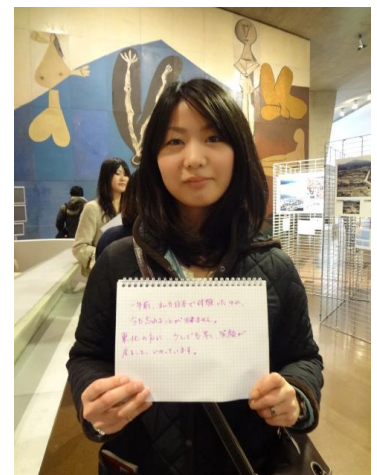
この写真展で

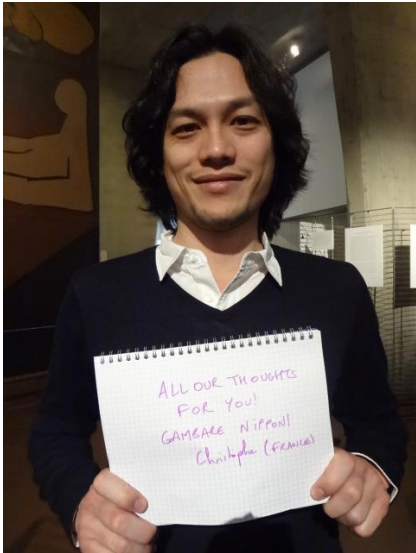
日本の方々の痛みを感じさせられました。

心が揺さぶられました。

一年前、私も日本で体験したゆれ、
今も忘れることができません。
東北の方に、少しでも早く

笑顔が戻ることを、いのっています。





いつもあなたたちのことを想っています。

GAMBARE NIPPON!

1日1歩

一緒に歩いていきましょう



福島に**愛**を

今まで目にしたことのない光景に

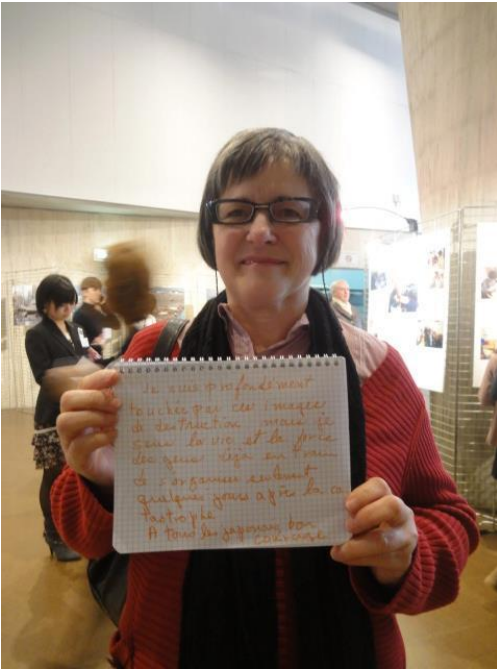
大きく心が動かされました。

頑張ってください、

あなたたちは、

素晴らしい人たちなのですから。





すべてが破壊された光景には
深く胸を突かれる想いでした。
しかし、災害の数日後には
被災地の方々の生活と活力はすでに

再建に向け動き出していたことも知っています。

すべての日本人へ、**がんばれ**。

ボクは音楽しかできません

だけど、音楽はできます！！

これからも**音楽の力で東北に笑顔**を！



フランスは**全力**で

あなた方が成し遂げようとしている

偉業のお手伝いをします。

がんばって！

写真を見て、
改めて地震の悲惨さを感じました。

みんなでがんばりましょう

いつも笑顔を



世界中の皆が応援しています。

頑張りましょう!!!

今回、沢山のスポンサーの方々に支えられて
パリに来ることが出来ました。
お客様の盛大な拍手に感動しました。
この気持ちを
被災された方々に届いていることを願います。

ありがとうございました！





一緒に
がんばりましょう

みんなが笑顔に
なれますように



ゆっくり少しずつ頑張ってください！

できることを少しずつでいいので、
全力でがんばってください！

東北は絶対、復活します。

少しずつ無理をせずに頑張ってください。

着実に一歩ずつ、復活へ歩いて行って下さい



みんな
頑張って

音楽の力で
みんなをひとつに！！



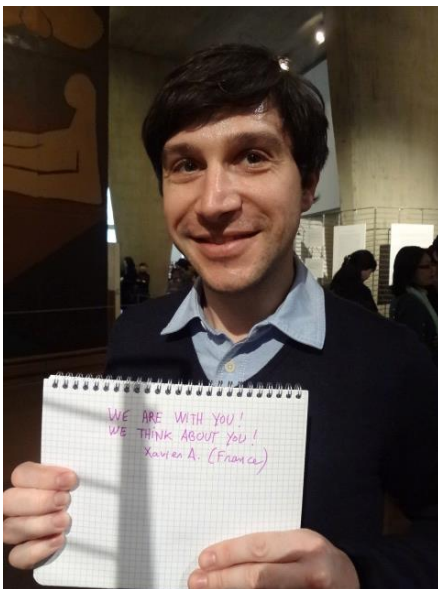
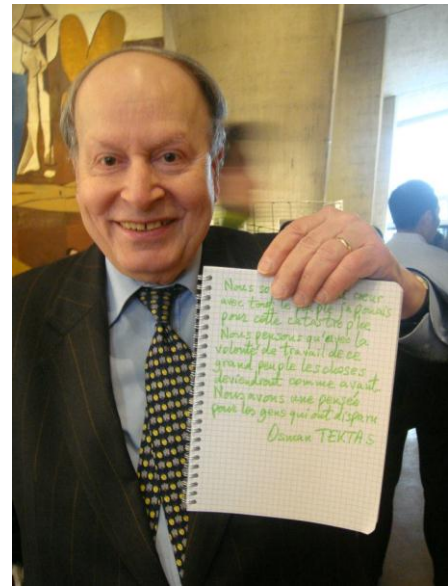
これからも**音楽**で
応援したいです！



みんな
がんばれ！！



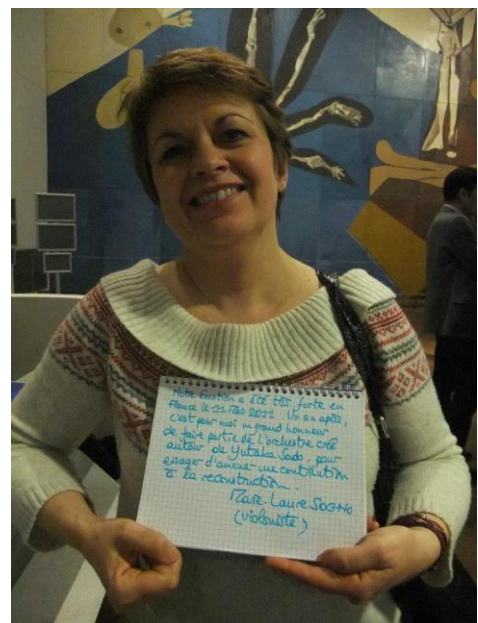
あの災害から一年、たった今でも、
私たちの心は日本人々と共にあります。
たくさんの人の**力強い意志**があれば、
物事は元通りになるはずです。
亡くなった方々にご冥福をお祈りします。



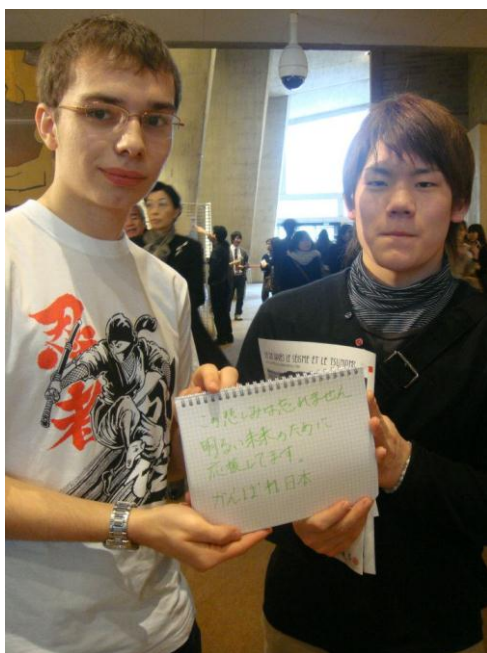
私たちはあなたたちと共にいます。
いつもあなたたちを**想**っています。

2011年3月11日、
フランス人の心は一つになりました。

あれから一年、
佐渡裕さんによるオーケストラに出演させて頂き、
復興に貢献できてとても光栄です。
(バイオリニスト)



この苦難のさなかでも、私たちは
あなたたちと**心から一緒**です。



この悲しみは忘れません

明るい未来のために

応援しています。

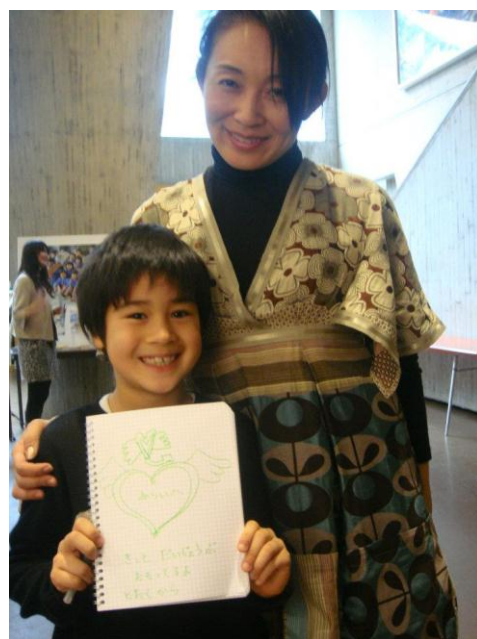
がんばれ日本

みらいへ

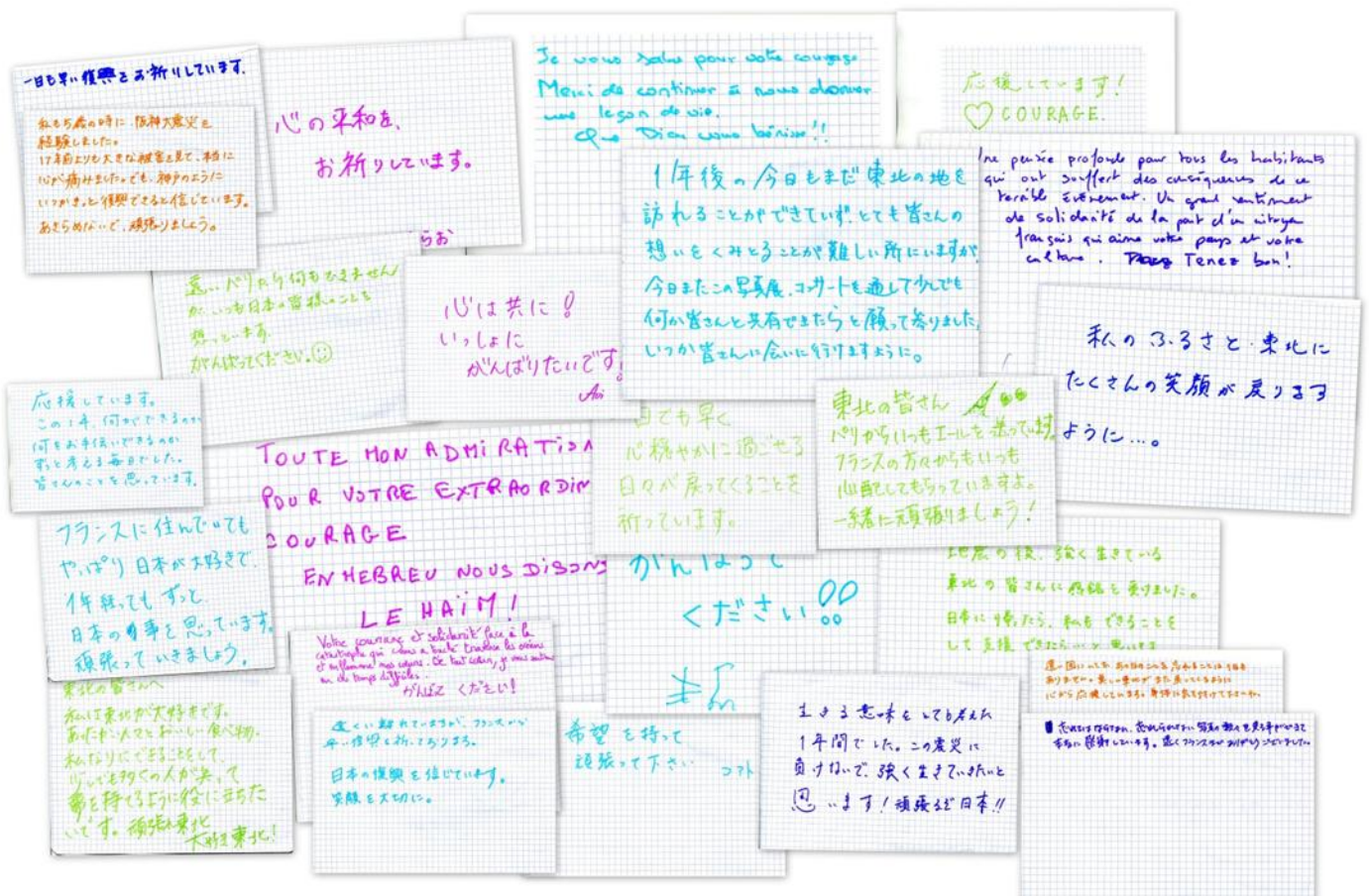
きっと だいじょうぶ

おもってるよ

とおくから



その他多くのメッセージ



次ページよりコメント (図左上から)

- ◆ 一日も早い**復興**をお祈りしています。

- ◆ 私も5歳の時に阪神大震災を経験しました。
17年前よりも大きな被害を見て、本当に心が痛みました。
でも、神戸のようにいつかきっと復興できると**信**じています。
あきらめないで、頑張りましょう。

- ◆ 応援しています。
この一年、何ができるのか、何をお手伝いできるのかずっと考える毎日でした。
みなさんのことを**思**っています。

- ◆ フランスに住んでいてもやっぱり**日本が大好き**で、
1年たってもずっと日本のことを思っています。頑張ってください。

- ◆ 東北の皆さんへ。私は**東北が大好き**です。あったかい人々とおいしい食べ物。
私なりにできることをして、少しでも多くの人が笑って夢を持てるように役に立ちたいです。
頑張れ、東北。大好き、東北！

- ◆ **心**の平和をお祈りしています。ひらお

- ◆ 遠いパリからも何もできませんが、いつも日本の皆様のことを**想**っています。
がんばってください。

- ◆ あなたがたの並はずれた努力に、最大限の**敬意**を表します。
ヘブライ語で、我々はこう言います、Le Haim!(お体に気をつけて!)

- ◆ 災害現場を前にしての被災された方々の努力と絆は海を越えて
私たちに**感動**をもたらし、胸が熱くなりました。
この大変な時期のみなさまを、心の底より応援しています。
がんばってください！

- ◆ 遠く離れていますが、フランスから早い復興を**祈**っております。
日本の復興を信じています。
笑顔を大切に。

- ◆ あなた方の勇気に敬意を表します。
私達に“**生きること**”とは何か、を教え続けて下さりありがとうございます。
あなた方に神の御加護があらんことを！

- ◆ **心は共に！** いっしょにがんばりたいです！ Aoi

- ◆ 1年後の今日もまだ東北の地を訪れることができていず、
とても皆さんの想いをくみとることが難しい所にいますが、
今のちもまたこの写真展・コンサートを通して
少しでも何か皆さんと**共有**できたらと願って参りました。
いつか皆さんに会いに行けますように。

- ◆ 1日でも早く心穏やかに過ごせる日々が戻ってくることを**願**っています。

- ◆ がんばってください！

- ◆ **希望**を持って頑張ってください。コアト

- ◆ 応援しています。 Courage(頑張っ**て**)

- ◆ 今回の出来事によって苦勞を強いられているすべての方々に、深く同情の意を表します。
日本国を愛し、日本の文化を**愛**するすべてのフランス人は日本に思いを寄せています。
がんばってください！

- ◆ 東北の皆さん。パリからいつも**エール**を送っています。
フランスの方々からもいつも心配してもらっていますよ。
一緒に頑張りましょう！

- ◆ 地震のあと、強く生きている東北の皆さんに**感銘**を受けました。
日本に帰ったら私もできることをして支援できたらいいと思います。

- ◆ **生きる意味**をととても考えた1年間でした。

- ◆ この震災に負けないで、強く生きていきたいと思います！**頑張るぞ日本！！**

- ◆ 私のふるさと、東北にたくさんの**笑顔**が戻りますように・・・。

- ◆ 遠くの国にいてもあの日のことを忘れることは1日ありません。
美しい東北がまた戻ってくるように心から応援しています。
身体に気を付けてくださいね。

- ◆ **忘れてはならない、忘れられない**写真の数々を見る事ができて
本当に感謝しています。
遠くフランスまでありがとうございました。